

令和 3 年 度

# 事 業 報 告 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

一般財団法人 九州港湾福利厚生協会

# 目 次

1. 令和3年度事業の概要	1
2. 施設運営事業の概要	2～5
3. 助成事業の概要	6
4. 施設の整備状況	7～8
5. 港湾貨物取扱量及び港湾福利分担金	8～9
6. 理事、監事及び評議員	10
7. 会議に関する事項	10～11
8. 監査に関する事項	12
9. 官庁への報告	12
10. 登記に関する事項	12

## (資 料)

資料 No.1 令和元年度～令和3年度 施設別運営収支状況

資料 No.2 令和3年度 施設別利用状況

資料 No.3 令和3年度（別府・武雄）保養センター一月別利用状況

資料 No.4 令和元年度～令和3年度 港湾福利分担金及び取扱トン数の推移

資料 No.5 作業別港湾貨物取扱トン数の推移

資料 No.6 港湾福利分担金納入登録元請港運事業者数（支部別）

資料 No.7 港湾福利厚生施設の概要

## 1. 令和3年度事業の概要

当協会の運営につきましては、平素から関係各位のご指導ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年の我が国の経済は、内閣府の年次経済財政報告に依りますと、「令和2年後半から持ち直しの動きが続いているものの、年初から断続的に感染拡大防止を意図した経済活動の抑制が続いていることで、GDPは危機前の水準を回復していない。輸出や投資とそれに関連する生産活動には明るさが広がっており、企業利益は増加する中で業況の改善基調も続いている。一方、人々の生活には感染リスクへの対応が伴っていることから、接触機会の多いサービスへの需要は抑制されており、個人消費は一進一退の動きとなっている。」と分析しています。

こうした中、令和3年度における貨物の取扱トン数は1億5千400万トンで、協会の重要な運営資金となる港湾福利分担金（第1次交付金）は2億4千500万円でした。

このような情勢のもと、次のとおり令和3年度事業を実施いたしました。

はじめに、施設運営事業であります。当協会の運営する施設は、総合厚生施設11施設のほか現場施設や保養施設など合計で22施設あります。

令和3年度は、これらの施設の運営にあたり、前年度に引き続き、一層の運営の効率化と経費節減に努める一方で施設の整備・改善に積極的に取り組みました。

施設利用者につきましては、190,187人で前年度に比べ8,380人・4.6%増加しました。

収入につきましては、前年度に比べ9,393千円の増加の117,664千円で、また、支出につきましては前年度に比べ4,340千円減少の250,982千円でした。

次に、施設の整備につきましては、下関港湾福祉センターほか13施設で改修工事などを行い、その費用は日港福の助成金と合わせて1億504万円でした。今回の施設整備により、今後は、一層の効率的な運営と利用者の利便性の向上が図られるものと思われま。

このほか、「体育・文化事業への助成事業」及び「宿泊費助成事業」につきましては、前年度に引き続き実施しました。また、令和2年度から新たに導入しました「技能訓練・養成助成事業」につきましても実施し、これらの助成事業の定着化を図っております。

今後とも、運営の効率化や経費の節減、施設の整備改善などに取り組む一方で、港湾福利厚生サービスの充実にも努めて参りたいと考えますので、関係各位のご理解と、一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 施設運営事業の概要

### (1) 施設の利用状況及び収支状況（資料No.1～3参照）

令和3年度における施設の利用状況及び収支状況は、次表のとおりです。

このうち、総合厚生施設及び現場施設・保養施設の利用者数は、190,187人で前年度に比べ8,380人・4.6%増加しました。

収入は、117,664千円で前年度に比べ9,393千円の増加でした。

支出は、250,982千円で前年度に比べ4,340千円の減少でした。

この結果、収支差額は前年度より13,733千円減少して133,319千円となりました。

なお、この収支差額は港湾福利分担金（第1次交付金）をもって補填しております。

#### <施設の利用状況>

(単位：注参照)

区 分	令和3年度			令和2年度		備 考
	施設数	利用者数	前年度比	施設数	利用者数	
総合厚生施設	11	170,439	4.9	11	162,501	
現 場 施 設	5	17,642	△0.5	5	17,733	
保 養 施 設	2	2,106	33.9	2	1,573	
計	18	190,187	4.6	18	181,807	
住 宅	2 (2棟)	422	△0.7	2 (2棟)	425	
駐 車 場	2	303	17.4	2	258	収容台数31台

(注) 利用者数は、総合厚生施設、現場施設及び保養施設は延人数、住宅は延戸数、駐車場は延台数である。

#### <施設の収支状況>

(単位：円)

区 分	令和3年度			令和2年度		
	収入額	支出額	差引額	収入額	支出額	差引額
総合厚生施設	82,977,341	176,872,313	△93,894,972	76,366,090	181,973,244	△105,607,154
現 場 施 設	6,652,688	16,017,799	△9,365,111	6,722,892	16,261,858	△ 9,538,966
保 養 施 設	12,538,420	44,261,984	△31,723,564	9,667,248	43,668,474	△34,001,226
住 宅	12,826,321	11,841,421	984,900	13,199,935	11,448,749	1,751,186
駐 車 場	2,669,140	1,988,584	680,556	2,315,147	1,969,813	345,334
計	117,663,910	250,982,101	△133,318,191	108,271,312	255,322,138	△147,050,826
対前年度増減額	9,392,598	△4,340,037		△20,881,537	△949,248	

(2) 施設別運営状況

① 総合厚生施設

総合厚生施設(下関・太刀浦・洞海・博多中央・長崎・八代・細島・油津・鹿児島)の各港湾福祉センター及び太刀浦、津久見の港湾会館：計11施設の利用状況等は、次表のとおりです。

これら施設における令和3年度の利用者数は170,439人で、前年度に比べ7,938人・4.9%の増加となりました。

収入は、82,977千円で前年度に比べ6,611千円・8.7%の増加でした。

支出は、176,872千円で前年度に比べ5,101千円・2.8%の減少でした。

<総合厚生施設の利用状況及び収支状況>

区 分	令和3年度			令和2年度	
	実 績	対前年度増減数	増減比	実 績	
利用数(人)	170,439	7,938	4.9	162,501	
収 支 (円)	収 入	82,977,341	6,611,251	8.7	76,366,090
	支 出	176,872,313	△5,100,931	△2.8	181,973,244
	差 引	△93,894,972	—	△11.1	△105,607,154

② 現場施設(休憩所)

現場施設(宇部新町・小野田・小倉・伊万里・谷山の各港湾労働者休憩所：計5施設)の利用状況等は次表のとおりです。

これら施設における令和3年度の利用者数は17,642人で、前年度に比べ91人・0.5%減少しました。

収入は、6,653千円で前年度に比べ70千円・1.0%の減少でした。

支出は、16,018千円で前年度に比べ244千円・1.5%の減少でした。

<現場施設の利用状況及び収支状況>

区 分	令和3年度			令和2年度	
	実 績	対前年度増減数	増減比	実 績	
利用者数(人)	17,642	△91	△0.5	17,733	
収 支 (円)	収 入	6,652,688	△70,204	△1.0	6,722,892
	支 出	16,017,799	△244,059	△1.5	16,261,858
	差 引	△9,365,111	—	△1.8	△9,538,966

③ 保養施設

㊦ 別府保養センター

別府保養センターの利用者数は1,019人で、前年度に比べ329人・47.7%の増加となりました。

収入は、5,805千円で前年度に比べ1,920千円・49.4%の増加でした。

支出は、20,273千円で前年度に比べ67千円・0.3%の増加でした。

繰入金による補填額は、14,467千円となっております。

＜別府保養センター利用状況及び収支状況＞

区 分		令和3年度			令和2年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利 用 者 (人)	宿 泊	1,019	329	47.7	690
	(内、会員)	(993)	(306)	(44.5)	(687)
	休 憩	0	0	0	0
	計	1,019	329	47.7	690
収 支 (円)	収 入	5,805,223	1,920,225	49.4	3,884,998
	支 出	20,272,708	67,188	0.3	20,205,520
	差 引	△14,467,485	—	△11.4	△16,320,522

㊧ 武雄保養センター

武雄センターの利用者数は1,087人で、前年度に比べ181人・19.8%の増加となりました。

収入は、6,733千円で前年度に比べ951千円・16.4%の増加でした。

支出は、23,989千円で前年度に比べ526千円・2.2%の増加でした。

繰入金による補填額は、17,256千円となっております。

＜武雄保養センター利用状況及び収支状況＞

区 分		令和3年度			令和2年度
		実 績	対前年度増減数	増減比	実 績
利 用 者 (人)	宿 泊	1,087	204	23.1	883
	(内、会員)	(869)	(219)	(33.7)	(650)
	休 憩	8	△23	△74.2	31
	計	1,095	181	19.8	914
収 支 (円)	収 入	6,733,197	950,947	16.4	5,782,250
	支 出	23,989,276	526,322	2.2	23,462,954
	差 引	△17,256,079	—	△2.4	△17,680,704

#### ④ 住宅

八幡竹末住宅（1棟・20戸）及び八幡西大谷住宅（1棟・24戸）の利用状況等は次表のとおりです。

令和3年度における利用延戸数は422戸であり、前年度に比べて3戸・0.7%減少となりました。

収入は、12,826千円で前年度に比べ374千円・2.8%の減少でした。

支出は、11,841千円で前年度に比べ393千円・3.4%の増加でした。

##### <住宅の利用状況及び収支状況>

区 分	令和3年度			令和2年度	
	実 績	対前年度増減数	増減比	実 績	
利用延戸数(戸)	422(79.9%)	△3	△0.7	425(80.5%)	
収 支 (円)	収 入	12,826,321	△373,614	△2.8	13,199,935
	支 出	11,841,421	392,672	3.4	11,448,749
	差 引	984,900	—	△43.8	1,751,186

(注) 利用延戸数・実績欄の( )内の数字は、入居率(利用延戸数/収容延戸数)である。

#### ⑤ 駐車場

駐車場は、門司白野江（収容台数87台）及び八幡穴生（同31台）の2施設です。令和3年度における利用状況等は次表のとおりです。

収入は2,669千円、支出は1,989千円で収支差額は680千円となっております。

なお、門司白野江駐車場は平成29年4月より賃貸先が管理・運営を行っており、次表の利用延台数及び収入は八幡穴生駐車場のみの実績です。

##### <駐車場の利用状況及び収支状況>

区 分	令和3年度			令和2年度	
	実 績	対前年度増減数	増減比	実 績	
利用延台数(台)	303(81.5%)	45	17.4	258(69.4%)	
収 支 (円)	収 入	2,669,140	353,993	15.3	2,315,147
	支 出	1,988,584	18,771	1.0	1,969,813
	差 引	680,556	—	97.1	345,334

(注) 利用延台数・実績欄の( )内の数字は、利用率(利用延台数/収容延台数)である。

### 3. 助成事業の概要

令和3年度は、従来からの「体育・文化活動への助成事業」及び「宿泊費助成事業」に加え、会員事業者が港湾運送事業を運営するにあたり、必要とする各種の資格保持者等を養成する場合に要した費用の一部を助成する「技能訓練・養成助成事業」を導入しました。

各種助成事業とも関係者の方々から好評をいただいております。

なお、各事業の実績は次表のとおりです。

#### <体育・文化活動助成>

区 分	令和3年度			令和2年度
	助成額(円)	対前年度比	助成件数	助成額(円)
体育・文化活動	1,744,815	67.0	8	1,044,815

(注)平成15年度から導入。

#### <宿泊費助成>

区 分	令和3年度			令和2年度
	助成額(円)	対前年度比	割引宿泊券(枚)	助成額(円)
別府保養センター	1,876,000	49.4	938	1,256,000
武雄保養センター	1,570,000	34.2	785	1,170,000
シーパレス日港福	56,000	△9.7	28	62,000
合 計	3,502,000	40.8	1,751	2,488,000

(注)平成15年度から導入。

対象施設：平成15年度から保養センター、平成18年度からシーパレス日港福

#### <技能訓練・養成助成>

区 分	令和3年度			令和2年度
	助成額(円)	対前年度比	助成件数	助成額(円)
技能訓練・養成	3,727,000	137.6	296	1,568,750

(注)令和2年度から導入。



#### 4. 施設の整備状況

令和3年度に実施しました施設の整備状況は次のとおりです。

##### ① (一社)日本港湾福利厚生協会の施設整備助成による整備

次の10施設の整備工事を実施しました。

(単位:千円)

施設名	工事名	工事金額	助成金額※	工期
下関港湾福祉センター	出入口改修工事	1,166	1,160	自: R3. 4. 24 至: R3. 5. 3
〃	空調設備改修工事	1,980	1,980	自: R3. 4. 24 至: R3. 4. 28
太刀浦港湾労働者福祉センター	内部等改修工事	12,430	12,430	自: R3. 5. 17 至: R3. 6. 22
〃	空調設備改修工事	11,880	11,880	自: R3. 5. 17 至: R3. 6. 22
太刀浦港湾会館	空調設備改修工事	2,750	2,750	自: R3. 5. 17 至: R3. 6. 22
洞海港湾労働者福祉センター	污水管等改修工事	1,430	1,430	自: R3. 4. 16 至: R3. 4. 30
八幡港湾労働者西大谷住宅	換気扇改修工事	2,845	2,840	自: R3. 5. 17 至: R3. 6. 3
〃	室内改修工事	2,303	2,300	自: R3. 4. 19 至: R3. 5. 12
八幡港湾労働者竹末住宅	換気扇改修工事	2,235	2,230	自: R3. 6. 7 至: R3. 6. 25
博多中央港湾福祉センター	トイレ改修工事	1,628	1,620	自: R3. 7. 1 至: R3. 7. 2
伊万里港湾労働者休憩所	空調設備改修工事	2,570	2,570	自: R3. 4. 17 至: R3. 6. 11
九港福別府保養センター	外部改修工事他	40,480	40,480	自: R3. 5. 10 至: R3. 7. 23
九港福武雄保養センター	外部改修工事他	14,042	14,040	自: R3. 5. 1 至: R3. 6. 16
合計	10施設13件	97,739	97,710	—

※当協会負担分: 29,000円

② 協会予算による整備

次の9施設の整備工事等を実施しました。

(単位:千円)

施設名	金額	整備概要
宇部新町港湾労働者休憩所	809	屋根補修工事、パソコン購入
洞海港湾労働者福祉センター	429	雨漏り補修工事他
八幡港湾労働者西大谷住宅	194	非常用照明器具取替工事
博多中央港湾福祉センター	1,109	塔屋昇降階段設置工事他
伊万里港湾労働者休憩所	889	換気・給湯設備取替工事他
細島港湾福祉センター	1,411	ブラインド取替工事他
谷山港湾労働者休憩所	355	屋外照明灯改修工事
九港福別府保養センター	143	Wi-Fi 改修工事
九港福武雄保養センター	1,961	浴室廊下塗装工事他
合計	7,300	

5. 港湾貨物取扱量及び港湾福利分担金

① 港湾貨物取扱量 (資料No.4～5参照)

令和3年度の港湾貨物取扱量は、153,959千トンであり、前年度に比べ12,511千トン・8.8%増加しました。

(単位:千トン)

年度 区分	令和3年度			令和2年度 取扱量
	取扱量	対前年度増減量	増減率 (%)	
一般荷役	21,523	1,671	8.4	19,852
特殊料金荷役	109,454	8,911	8.9	100,543
検数・検量	17,582	1,796	11.4	15,786
関連事業	5,400	133	2.5	5,267
合計	153,959	12,511	8.8	141,448

② 港湾福利分担金（資料No.4 参照）

令和3年度港湾福利分担金は、第1次及び第2次交付金の合計で409,303千円であり、前年度に比べ24,798千円の増加でした。

このうち、地方分担金である第1次交付金は245,582千円で、前年度に比べ14,878千円の増加となりました。

（単位：千円）

年度 分担金	令和3年度			令和2年度 金額
	金額	対前年度増減額	増減率 (%)	
第1次交付金 (地方分担金)	245,582	14,878	6.5	230,704
第2次交付金 (中央分担金)	163,721	9,920	6.5	153,801
合計	409,303	24,798	6.5	384,505

③ 元請港運事業者数（資料No.6 参照）

令和3年12月31日現在の港湾福利分担金納入登録事業者数は、前年末と同数の236事業者でした。

区分	令和2年末	増減数	令和3年末	備考
港湾荷役	175	0	175	
検数・検量	42	0	42	
関連事業	19	0	19	
合計	236	0	236	

## 6. 理事、監事及び評議員

令和3年度第1回理事会及び令和3年度定時評議員会において、下記の理事及び評議員の選任が行われ承認されました。

### (1) 理事

新任理事	所 属	退任理事
山影成久	日南市 王子物流株式会社 日南事業所長	百井修治

### (2) 評議員

新任評議員	所 属	退任評議員
安居 徹	大牟田市 三池港物流株式会社 管理部長	首藤康司
岩本泰明	水俣市 南九州センコー株式会社 港湾営業所長	—
叶 隆典	奄美市 株式会社叶運輸 代表取締役社長	—

## 7. 会議に関する事項

### (1) 理事会、評議員会

会議名（開催日）	議 題
令和3年度 第1回理事会  (令和3年6月4日)	1. 令和2年度事業報告(案)について 2. 令和2年度事業収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書(案)について 3. 令和3年度定時評議員会の招集について 4. 理事及び評議員の一部変更について
令和3年度 定時評議員会  (令和3年6月25日)	1. 令和2年度事業報告について 2. 令和2年度事業収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書(案)について 3. 理事及び評議員の一部変更について
令和3年度 第2回理事会  (令和4年3月17日)	1. 令和3年度予備費の使用について 2. 令和4年度事業計画(案)及び令和4年度収支予算(案)について 3. 会計処理規則の改正について

(2) 保養センター運営委員会

会議名 (開催日)	議 題
令和3年度 第1回委員会 (書面での対応)  (令和3年5月)	1. 令和2年度運営事業報告(案)について 2. 令和2年度収支決算(案)について 3. その他 ①令和2年度割引宿泊券の利用状況について ②令和3年度「日港福」施設整備助成に係る工事について
令和3年度 第2回委員会 (書面での対応)  (令和4年2月)	1. 令和4年度運営事業予算(案)について 2. 保養センターの利用状況について ①利用状況及び割引券使用状況 ②年度別・月別宿泊者数の推移 ③年度別事業収入の推移

(3) (一社)日本港湾福利厚生協会主催の会議

会議名 (開催日)	議 題	出席者
令和3年度第1回理事会  (令和3年5月12日)	1. 令和2年度事業報告(案)並びに令和2年度収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書(案)の件 2. 第59回定時総会招集の件 3. 会員入会の件	専務理事
第59回定時総会  (令和3年6月9日)	1. 令和2年度事業報告並びに令和2年度収支決算(案)及び公益目的支出計画実施報告書の件 2. 令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算の件 3. 役員任期満了につき改選の件	理事長 専務理事
令和3年度第2回理事会 (令和3年6月9日)	1. 会員入会の件 2. 役員選定の件	理事長 専務理事
全国専務理事会議 (令和3年11月11日)	1. 当面の諸問題について 2. 令和4年度施設整備事業助成について 3. シーパレスの現状と利用促進について	専務理事
令和3年度第3回理事会 (令和4年3月9日)	1. 令和3年度事業報告(案)の件 2. 令和4年度事業計画(案)及び令和4年度収支予算(案)の件 3. 会員入会の件 4. 定款一部変更(案)の件 5. 職員就業規則改正(案)の件	理事長 専務理事

## 8. 監査に関する事項

令和3年5月19日、令和2年度決算に関する監事の監査が行われました。

## 9. 関係官庁への報告

令和3年6月25日、内閣総理大臣(内閣府公益認定等委員会事務局)に対して、「令和2年度公益目的支出計画実施報告書」を提出しました。

## 10. 登記に関する事項

令和3年7月5日、次の理事及び評議員の登記を行いました。

### (1) 理事(2名)

新任 山影成久

退任 百井修治

### (2) 評議員(4名)

新任 安居 徹、岩本泰明、叶 隆典

退任 首藤康司